

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）日・英国共同研究
（神経科学に基づく認知症研究分野） 事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名	アルツハイマー病の迅速診断に向けた血液バイオマーカー・マルチセンシングバイオセンサーの開発
研究開発代表者	塚越 かおり
代表機関	東京理科大学

○評価委員会コメント

成果・評価される点：

- ・ 日・英国の技術・知見を融合し、pTau181、GFAP、NfL を迅速・低コストで測定可能なマルチセンシング型バイオセンサーを開発するとともに、特許出願による知的財産を確保した。
- ・ マウスモデルおよび臨床検体を用いた評価を進め、アルツハイマー病診断技術の基盤を構築するとともに、日・英国双方の強みを活かした国際共同研究を推進した。
- ・ 若手研究者交流や共著論文などの成果も得られており、今後の社会実装や共同研究のさらなる発展が期待される。

課題・改善点：

- ・ バイオセンサーの測定感度、測定可能濃度範囲、既存法との一致度について、さらなる改良・バリデーションが必要である。
- ・ 認知症類型の識別性能や疾患特異性、実用化に向けた測定試料の選択や企業との連携などについて、さらなる検証・具体化が望まれる。